



大門小だより

3月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子



令和4年2月25日
横浜市立大門小学校

校長 能登 正明

2月には、新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るい、まん延防止等重点措置も延長されました。ご家族でも体調を崩された方が多かったことと思います。春の訪れとともに早く収まることを願っています。

今年の大河ドラマは、平安末期から鎌倉時代を舞台にしたものです。この瀬谷からも近い相模国鎌倉に、武家政治の中心があった時代です。鎌倉と他の地方（東国）を結ぶ道は「かまくらみち」と呼ばれ、今でも道路の標識でよく見かけます。

前に朝会でも話をしましたが、大門小の横を通る道もその一つで、「上ノ道」と呼ばれる「かまくらみち」の一つでした。これからドラマで登場してくる「源義経」や「曾我兄弟の仇討」、「承久の乱」などの歴史上の出来事の中で、多くの武士や民衆がこの「上ノ道」を往来していたことと思います。

室町時代に入ってから鎌倉には「関東公方」が置かれ、東国の中心であった時期がありました。応仁の乱以降、関東では一足早く戦乱の世が始まり、「上ノ道」沿いの上瀬谷の付近では「瀬谷原の合戦」などの戦いがあったそうです。

今では、街並みも人の姿も全く異なり、往時の面影があまり見られなくなっていますが、ふと空を見上げてみると、たぶん空や雲の様子は千年前の昔とそんなに変わってないのではないかと、同じような空を昔の人も見上げていたのではないかと、と夢想したりもします。

こんな具合に、今でも（少しではありますが）歴史に対して興味があるのは、小学校の時に大河ドラマを見たことがきっかけだったことを覚えています。学生時代には、日本史を専攻したこともありました。子ども時代の出会いは、ちょっとしたことでもその後の人生に思わぬ影響を与えることがあります。これから卒業や進級を迎える子どもたちにも、自分の中に芽生えた興味や関心を大切にして、自ら育てていってほしいと思います。

令和3年度、学校としての一年も締めくくりの月となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらの一年でしたが、保護者や地域の皆さまの温かいご支援とご協力をいただき終えることができそうです。あらためて感謝申し上げますとともに、これからも引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最近の教育活動の様子



給食週間 1月24日(月)～28日(金)

「全国学校給食週間」の時期に合わせた取組を行いました。給食委員会では、給食の大切さや栄養バランスについてもっと知ってもらうために、給食レンジャーの劇をしたり、各クラスに毎日配っているぱくぱくだよりを作成したりしました。また、給食週間にちなんだ献立も登場したり、給食のはじまりや給食に関わる人について知ったりしました。



ESD推進校交流報告会 1月25日(火)、2月3日(木)

横浜市内でESDを推進している小中学校の児童・生徒がオンラインで交流しました。本校からは、3年3組、5年2組、6年3組の代表児童が参加し、総合的な学習の時間で取り組んだことを、プレゼンテーションで発表しました。交流を通して、子どもの見方や考え方がさらに深まりました。SDGsに対する理解や視野が広がる、貴重な体験となりました。

歯科巡回指導 1月28日(金)、31日(月)

歯科衛生士の穂積先生による「歯と口の健康チェック」を行いました。事前の歯みがきカードの取組や前日の仕上げ磨きのおかげで全校の74%がよく磨けている「A」でした。歯ブラシチェックでは、刷毛部分が大きすぎるものや毛先が広がってしまったものが目立ちました。新しく購入するとき口に合ったものを選んでください。また、歯肉炎のある児童が各学年で目立ちました。引き続き、健康な歯を維持し、大切にしていけるように毎日の歯みがきの習慣や規則正しい生活を呼びかけていきます。



大門サポーター感謝の会 2月1日(火)

1年間お世話になった「大門サポーター」の皆様へ感謝の気持ちを伝える会を開きました。子どもたちは映像を見ながら、大門サポーターの活動を知ったり、代表の児童が作った感謝状をお渡しして、感謝の気持ちを伝えたりしました。今年度79名の方々に、農園、植栽、図書などの様々な面で子どもたちの教育活動を支援いただきました。来年度以降も、たくさんの方々の登録をお待ちしています。



5年生 新1年生への学校紹介の活動

新1年生に向けて「大門小学校のことや学校生活が伝わるものを考えよう」と、「学校での一日」や「給食」など様々なテーマでパンフレットを作成しました。また、新1年生の入学説明会に向けて、実行委員の児童が、保護者に向けた学校の紹介動画を作成しました。「分かりやすく伝えよう」と相手を意識して活動しました。



学校保健委員会 2月9日(水)

9月から取り組んできた、基本の手洗いと4つのミッションの振り返りをしました。そして、手洗いを頑張ったクラスを、保健委員が表彰しました。学校医の木我先生からは、外から帰った時に、手洗い・うがい・洗顔をすると感染症予防につながることをビデオメッセージで教えていただきました。各クラスで正しい手洗いを続けていくためにどうしたらよいかについても話し合いました。

個別支援学級 市合同学習発表会 2月18日(金)

6組プロジェクトの一年間の学習を生かし、チームで力を合わせて、劇「はたけのやさいで大成功!」を発表しました。保護者の方々や職員の前で学習の成果を堂々と発表することができ、達成感を味わっている様子でした。今年度も映像で発表を鑑賞し合い、他校と交流します。この経験を自信にして、さいごまで頑張ります!!



学校関係者懇話会 2月22日(火)

学校協力者の皆様にお集まりいただき、今年度の教育活動の取組について説明し、ご意見をいただきました。

協力者の方から話題として挙げたこと

- ① 情報発信に関して
コロナ禍の中でも様々な具体的取組に取り組んでいることが知れた。家庭や地域に伝わるように発信されると更に良い。
- ② 大門サポーターに関して
家庭・地域として学校のお手伝いをする中で、普段の子どもたちの様子も見れた。

安全強化 WEEK

GIGA スクール

SDG s

令和3年度
具体的取組

その他

大門サポーター

NAS 連携水泳

大門小学校の授業研究

本校では、「一人ひとりの子どもが意欲をもって、主体的に学習に取り組み、自ら学力を向上させていく力を養う」ことを目標に「楽しく分かる授業づくり」を進めています。ここでは、本年度行った授業研究の一部をご紹介します。

区一斉授業研究会 養護 1月

瀬谷区養護部会では、「自分を大切に思える子を育てる健康教育の充実をめざして」をテーマとしています。保健学習「心の健康」の“不安や悩みがあるときにどう対処するか考えよう”の授業を5年3組で行いました。



自分たちの対処法を紹介し合いグループで共有しました。いろいろな方法があることを知り、自分に合ったものを考えたり、養護教諭から紹介された腹式呼吸も対処方法の一つであることを理解して、試したりしました。

重点研究 国語 6月～1月

「人との関わりの中で、多様性を認め合い、自らを高め合う子の育成」をテーマに、指導と評価の一体化を目指し授業研究を進めてきました。子どもたち一人ひとりが自分の思いを表現できるような手立てを工夫した授業が行われ、生き生きと学習する姿が見られました。



瀬谷区人権教育推進協議会 11月29日(月)

2年間の瀬谷区人権教育実践推進校としての研究の発表・交流の場として行いました。瀬谷中ブロックの4校の人権教育の紹介、大門小学校が取り組んできた学校および学習のユニバーサルデザイン化についての提案などを行いました。来年度以降も、研究の成果を生かして、人権教育を推進していきます。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

生活科・総合的な学習の時間を中心にESDの活動に力を入れてきました。各クラスまとめの段階に入り、自分たちで取り組んだ成果を校内や地域に広めていく活動が見られました。



たまねぎ染めをしたパンダ

残さを使ったコンポスト



チヨークの粉を使った再生チヨーク

児童支援専任から

放課後の遊び方についてご確認ください



- 誰とどこで何時まで遊ぶのか
- 危険な場所で遊んでいないか、危険な遊び方をしていないか
- たくさんのお金をもって遊んでいないか
- 子どもたちだけでゲームセンターや大型ショッピングセンター等に行っていないか
- 交通ルールを守っているか(自転車やキックボードの乗り方等)
- 携帯電話やスマートフォンを適切に利用しているか(LINEトラブルやゲームアプリの課金トラブル等は年々増加しています)